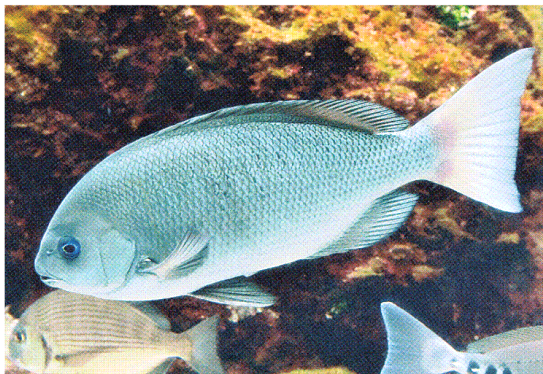




㊦かごしま水族館の目の前の沖堤防で全長50ㄢのメジナを釣った筆者（写真提供・天竜丸）㊦神秘的な青い瞳もメジナの魅力の一つ



メジナ

学名 *Girella Punctata*

分類	スズキ目メジナ科
大きさ	よく漁獲されるのは40ㄢまでが多いが、60ㄢ以上に成長する
分布	北海道南部から九州の沿岸、朝鮮半島沿岸や東シナ海、台湾沿岸など
食性	小型の甲殻類なども好むが、元来は海藻類を食べる雑食性
特徴	沿岸でとれる魚として重要で、特に繁殖シーズン前の冬は「寒メジナ」と呼ばれ脂が乗る。西日本で「グレ」や「クチブト」「ジグロ」、九州では「クロ」といった名前で呼ばれ、日本各地で親しまれている。2～6月に産卵し、稚魚や幼魚のころは内湾寄りの海域にすむが、成長するにつれて外洋に面した、潮の流れのよい磯に移動する。

臆病と剛胆の二面性

メジナは釣り好きにはとてもなじみがある魚です。かごしま水族館では、桜島の海中を再現した水槽で展示しています。彼らの習性を垣間見ると、二面性に気がきます。

メジナは警戒心が強く、普段、次第にイライラしはじめます。段は岩の割れ目などに隠れています。水族館に来たばかりのころは、他の魚たちが餌を食べても、メジナは勇気が出ず食べようとしません。

本当は食べたくて仕方ないため、次第にイライラしはじめます。段は岩の割れ目などに隠れています。水族館に来たばかりのころは、他の魚たちが餌を食べても、メジナは勇気が出ず食べようとしません。

そのうち隠れ家に戻るのに面倒になり、餌に近づくと他のメジナたちも安全と分り、まるでスイッチが入ったように隠れ家から飛び出します。

おもしろ生き物図鑑

かごしま水族館から

めまします。群れ全体のイライラが頂点に達したとき、我慢できなくなった小型の1匹が隠れ家から飛び出し、餌をくわえて急いで戻ります。同じ1匹がこれを繰り返すと、大型のメジナたちも安全と分り、まるでスイッチが入ったように隠れ家から飛び出します。

釣り師の格言に「撒き餌の切れ目が縁の切れ目」という言葉があります。これは、餌を少しずつまいて、メジナの警戒心を解くと効率良く釣れるが、まく餌がなくなれば再び警戒しはじめて釣れなくなることを表現しています。

釣師は水の中で起きていることを、体験的に知っているのです。

みなさんも臆病と剛胆の二面性をもつメジナを水族館で観察してみませんか？上達を目指す釣り師にとっては、好釣果を得るヒントが見つかるといいですね。よ。（展示課主幹・久保信隆）